

ARTS for HOPE 活動報告書

2016年6月22日～6月26日



①6月23日／熊本県熊本市 熊本大学医学部附属病院 ※Wonder Art Production主催
「Happy Doll Project」の実施

前回訪れたのは2013年。今回は熊本地震への応援メッセージも込めた再訪となりました。「みんな楽しみに待ってました」と師長さんや保育士さん。子どもたち、お母さん、先生に看護学生さん…、みんなで一緒に過したかけがえのないひと時となりました。





②6月24日／熊本県益城町 第四保育所
「Happy Painting Project」の実施

Supported by  日本 THE NIPPON
財団 FOUNDATION

震災当時は避難所となり、現在も他園の子どもたちの受け入れを行っている保育所。落ち着きのない生活の中で、「今子どもたちに必要なのは夢中になれる時間。今回、まさにそういう時間を届けてもらいました」と、園長先生から嬉しい言葉をいただきました。これまでの生活と大きく異なる環境で生活する子どもたち。そのエネルギーが瞬く間にキャンパスを埋め尽くしました！



「なにがはじまるの！」と興味津々の子どもたち。今回は4～5歳児対象のプログラムとなりました。



シャボン玉の登場に子どもたちはおおはしゃぎ！
それぞれの目に映ったシャボン玉をビニールに
いっぱい描きました。





テラスに広げた大型の画用紙も、瞬間に子どもたちの絵で埋め尽くされました。



③6月24日／熊本県益城町 第三保育所
「Happy Painting Project」の実施

Supported by  日本 THE NIPPON
財団 FOUNDATION

厳しい被災地域にある保育所。地震に加え、大雨で土砂が崩れ、周辺には厳しい風景が広がっています。屋外でのびのびと描いてほしい！その願いが通じたのか、大雨の天気予報が持ちこたえ、園庭の青空キャンバスで子どもたちがペインティングを楽しみました。（描き終えて間もなく、バケツをひっくり返したような土砂降りとなりました！）







④6月25日／熊本県益城町 総合体育館(避難所)
「Happy Doll Project」「Happy Painting Project」の実施

Supported by  日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION

先月に続き2度目の訪問。現在も多くの方が避難生活を続けています。通路の片隅に設置した会場には「何がはじまる
と？」と準備中から続々と人が集まり、子どもから高齢者まで、たくさんの人たちが参加しました。中には前回も遊びに
来てくれた子どもも。終了後も「やりたい！」と訪ねてくる子どもたちも多く、小さな会場は大盛況となりました。





一角では
ペインティ
ングも実
施。無機
質な空間
が子ども
たちの絵
で明るく
なりました



震災後、比較的早い時期から再開した児童館ですが、現在も閉館中のほかの児童館から、子どもたちの受け入れを行っています。震災後、何もやる気が起きなくなってしまうお母さん。「はじめて夢中になれた」と親子で素敵なHappy Dollを作っていました。参加してくれた子どもの中には、避難所から通っている子どもも。指導員の先生から「また来てください！」と嬉しいリクエストをいただきました。作品の一部は秋季から開催する展覧会で展示予定です。



